

第 72 号

編集・発行
白山高等学校PTA印刷
伊藤印刷株式会社

2021. 7

御
挨拶

PTA会長 森山 幸子

本年度、白山高等学校のPTA会長を務めさせていただくことになりました森山です。

四月から新年度がスタートしましたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で皆さまの家庭生活だけでなく、子どもたちの学校生活や学校行事、部活動等に支障をきたしたままです。ただ、唯一の救いは、新型コロナウイルスに対するワクチンが開発され、日本でも集団接種等が開始されたことです。これには、短い期間の中で、その都度発生する問題と向き合い、諦めずにワクチン開発に従事された医療関係者の方々の努力のお陰だと敬意を表さずにはられません。

このように、日本の未来を担っていく子どもたちには、はじめて体験する難しい局面の中でも、目の前にある問題と向き合い解決に向けて努力できる力を身につけて欲しいと考えています。さらには、今の自分に

出来ること、今の自分だからこそ出来ることを考え、主体的に行動することが更なる成長に繋がると信じています。

また、地域の活性化に貢献できる一人の人間として成長するなかで地域からの信頼も得られるように、先

.....

御
挨拶

校長 堀 昌弘

平素より本校の教育活動並びにPTA活動の充実・発展に御理解・御協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年から続く新型コロナウイルス

生方や地域の皆さまに指導をいただくこととなりますが、PTAとしても協力、サポートしていきたいと考えています。

本年度もコロナ禍で限られた活動になってしまふことが予想されますが、保護者の皆さまには、是非、PTA活動にご参加いただきたくお願い申し上げます。

また、よりよいPTA活動にしていく為にも皆さまからのご意見を取り入れ、実りある活動となります様、努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

の学校教育への影響が心配されていきます。幸い本年度は、長期間にわたる臨時休校措置や学年別の登校、ICT機器を活用した遠隔リモートによるHRと授業などの状況には至っていませんが、インターシップや

地域行事への参加など地域と協働した教育活動の多くはコロナ禍により七月末現在実施することが叶わない状況です。

保護者の皆様におかれましては、これまでの学校の新型コロナウイルス拡大防止の取組にご協力いただきまして、大変感謝しております。特に三年生の保護者の皆様には昨年から延期になっている修学旅行の実施についてご心配をおかけしております。二学期に入りましたらワクチン接種率も向上して、通常の教育環境が戻ってくるものと期待しております。

そのような中でも生徒たちは不安な気持ちを隠しながら、前向きに勉強に部活動に頑張ってくれています。毎朝、登校する生徒の明るい声に元気をもらっています。

さて、生徒には、白山高校の三年間で「命を守ること」、「たしかな力を身に着けること」を学んでほしいと思います。

命を守るとは、事故や災害から身体を守ること、いじめや人権侵害から心を守ることです。前者は交通事故や事件、台風や地震などは勿論今回のコロナ対策など病気感染への対応も含みます。想像力を働かせた危

険予知や危機発生時に対応する知識の習得、避難訓練などの危機回避の力が求められています。後者については自分を大切にすることと、他の人を大切にすることは同じことであるということを理解してほしいと思います。偏見や差別を見極める力、他者の痛みを共感的に受け止め共に解決に向けて行動する力が求められています。

確かな力とは、これからの予測困難な時代を生き抜いていくために必要な力のことです。社会人として求められる基礎学力、規範意識、コミュニケーション力を身につけ、生涯にわたって主体的に様々な課題に立ち向かっていくことができるようになってほしいと思います。

そのような力を生徒に育成するためには、学校・家庭・地域社会が役割分担を果たしつつ、相互に連携して教育に取り組む必要があります。

本校ではコミュニティ・スクールの取組が九年目を迎え、学校運営協議会が地域社会との連携という視点から本校の教育活動をしっかり支援してくれています。

家庭との連携においては、PTAは要となる存在です。家庭教育はすべての教育の原点として、子どもたちの基本的な生活習慣、自尊感情、思

いやり、規範意識、健康・体力などを育てるうえで重要な役割を担っています。

白山高等学校PTA会員の皆様におかれましては、本校教育活動の充実・発展のため、今後より一層の御理解・御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

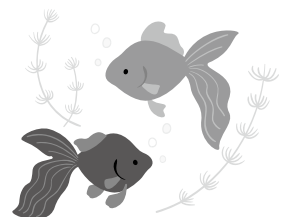
各分掌より

「白山高校の教育」

教務部

平素は白山高校の様々な教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

本校では、学校が取り組む姿勢として「あいさつ・ルール・美化の三つの言葉を核に進める」というのがあります。教務部としても、「一・きちんと挨拶ができる。」「二・時間を



守り、身の回りの整理・整頓、掃除などができる。」「三・相手の気持ちを考えたり、ルールを守り適切に行動することができる。」の三つの目標を掲げて取り組んでいます。また、卒業後の進路希望をかなえられるように、また、社会人にふさわしい知識や態度の形成のため、三年間の授業を中心とした学習活動をはじめ、部活動、生徒会活動などいろいろな活動を通して進めています。これまで、基礎的な学力をつけるために、「朝学」と言われる「朝の学習」に力を入れて取り組んできました

たが、新型コロナウイルスによる感染防止のために、朝の健康チェックの時間を導入しております。朝学ができていない分、日々の授業の時間を大切にし、少しでも生徒にとってわかりやすい授業ができるよう、『ユニバーサルデザインの授業』を行うことに力を入れています。また、一年生のほとんどの科目の授業で、クラスを分割した授業、T T（チームティーチング）の授業を行い、きめ細かい指導とともに、落ち着いて授業を受けられる環境づくりを進めており、生徒が落ち着いて安心して授業を受けられるように取り組んでいます。

「総合的な探究の時間」では、一年生は年間を通して六つのテーマで学習をして広い知識や考え方を養い人間力を高めようと考えています。今年度のテーマは、「福祉、人権、生涯スポーツ、国際理解、文化研究、コミュニケーション学習」です。二年生では、今年度から新たに「総合的な探究の時間」が設けられ、「ヒト・モノ・シゴト、福祉、農業、ゆるキャラ×白山、観光、名松線」の六分野に分かれ、それぞれの分野の視点から地域の課題解決や活性化についての活動を行っています。また、三年生では、年間を通してのインターン

シップを、地域の事業所の皆さんにご協力をいただき、実施する予定です。しかし、新型コロナウイルスによる感染防止のために一時中止を余儀なくされてしまいました。現在は、面接指導、作文指導、一般教養・基礎学力の指導に力を入れ、進路実現に向けて取り組んでいます。

令和四年度からは、新しい学習指導要領に改訂されることに伴い、新しい教育課程による授業が始まります。授業の自身や求められる力が変わり続ける中、ICT機器の環境整備など、より充実した授業を行えるように様々な準備に取り組んでいます。

このような学習活動を通して、生徒が成長することを願い、生徒の意欲に応えるためのサポートをさせていただきます。今後ともご協力をお願いいたします。



『日進月歩』

生徒指導部

最初に、コロナウイルスの感染拡大の影響から、分散登校のためバスの運行を行うなど、様々な面で例年とは異なる状況が続いております。そんな中でも、生徒達が柔軟に対応し、協力し合う姿を見ると心強く思っています。ご家庭におかれましても、ご協力いただきありがとうございます。

白山高校では、「あいさつ」、「ルール」、「美化」の三つのことを大切にしています。

「あいさつ」については、生徒指導部や生徒会が中心となって毎朝校門前で挨拶運動を行っています。生徒会の生徒たちが、毎朝元気にあいさつ運動をしていくので、多くの生徒がそれに対し、あいさつを返してくれます。中には恥ずかしがって礼だけの生徒、または、声に出なくてニコツと笑ってくれる生徒もいます。やはり、あいさつは生活の基本ですから、今後もしっかりと継続していきたいと考えています。

「美化」について、生徒会メンバーと生徒会顧問が毎朝、ゴミ拾いをしています。登下校のゴミは年々少な

くなっており、生徒一人ひとりのモラルが向上していると思います。今後も粘り強く啓発を行っていきます。「ルール」について、生徒指導部では学校のルールについて生徒にたくさん言葉掛けをします。社会に出て頼られる人間になるために、ルールを守ることは大変重要なことだと思います。

日ごろから生徒にはよく言っていますが、人間は成長していく過程で必ず失敗をするものです。しかし、その失敗から成功へつながる何かをつかむことが大切で、それを学ぶのが学校なのだと思えます。例えば安易に遅刻を繰り返してしまっても、遅刻指導のあと、全く遅刻をしなくなった生徒たちがいます。「おそらくその生徒たちは「遅刻はだめ」ということを感じてくれたのでしょう。白山高校にはそんな生徒がたくさんいます。失敗から得る教訓を大切に日に日に絶え間なく成長、進歩してくれる生徒が今後も増えるよう、生徒指導部としては、時に厳しく、時に優しく生徒を見守っていききたいと思えます。

白山高校の進路指導

進路指導部

本校では、各学年とも一学期に進路オリエンテーションを実施したうえで、各学年に応じて、大きく進路をとらえるところから具体的に方向性を決めていくところまで、生徒一人ひとりに現在と将来をしっかりと見詰めさせることができるような進路指導を順に進めています。

具体的には、一年次には二学期以降に地元企業との交流会や職業別体験授業（体験型ガイダンス）、二年次には、企業・学校見学会、さまざまな業界の方を招いて行うパネルディスカッション、全職員による面接指導、三年次には各種の全体指導、合同就職相談会への引率、面接指導、夏季セミナー、赴任指導などを行っています。時には近年卒業した先輩たちを招いてお話を聞いたり、様々な専門分野の外部の方からお話をうかがう機会を設けたり、進学情報や一度に複数得られるよう学校からパスを出して「進路フェスタ」に参加したりもしています。

自宅から通えるところでの進路実現を希望する生徒たちが、卒業後地

域を愛し、地域を活性化してくれるよう、地域のみなさんのご助力も得ながらキャリア教育を充実させていただきます。

今年とは異なり、概ね例年通りに進んでいます。ただ三年生の金曜午後のインターンシップがまだ行えない状況です。その分、進路指導面の指導（適性検査や面接の準備など）を担当の先生方にしていただいています。

三年生はいよいよ就職活動本番に突入していきます。就職関係の日程は九月十六日選考開始となり、一昨年の状況に戻りました。できるだけ希望に添えるよう、また個々の適性にあつたところを紹介していけるよう今年度も就職実現コーディネートやハローワークのジョブサポーターのご協力も得ながら進めてまいります。

四月以降、三年生は、欠席を少なくし、学校の勉強にもさらに熱心に取り組んでいる様子が見られます。五月には、どこにでも通用する証明写真の撮影を行い、進路ガイダンスなど企業や大学専門学校の方の話を直接聞く場を設けるとともに、一般常識をテストし、『進路のてびき』を活用したガイダンスを行い、『面接指導』にも取り組んでおります。そこか

らは、それぞれが自分の進路希望の実現に向けて、前向きに取り組もうとする意欲が感じられます。

その先輩たちの姿を見て下級生たちも徐々に社会人になれる態度が身についていくようです。

最後まで手を抜かず、一人ひとりの希望実現にむけて精一杯支援してまいります。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。



5月27日3年生進路ガイダンスより
(オンライン相談の様子)



保健部より

保健部

日頃より、さまざまな場面でお子様の生活を支えていただき、ありがとうございます。また新型コロナウイルス感染症対策にしましては、登校前の検温のご協力、またマスク着用等の学校における感染症対策にご理解、ご協力をいただきまして、心から感謝いたしております。

本校の保健室では、健康診断、健康相談、応急処置を行っております。その他の活動としまして、性に関する指導、命を大切にする教育なども実施しております。今年度も引き続き、感染症対策をしながら、保健教育を行ってまいります。

また本校はスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拠点校となっております。加えて、必要に応じて学校生活スペースマネージャーの先生にも来校いただき、相談をすることも可能です。専門的な知見をお持ちの各先生方とともに、お子様の学校生活を支援させていただきます。何かございましたら保健室までご連絡ください。



今後とも、白山高校保健部の活動に、ご協力よろしくお願いいたします。

白山高校図書館の紹介

図書館

(概要)

蔵書数：約一五、五〇〇冊

新聞：三誌

雑誌：十誌

検索・学習用パソコン：三台

座席数：四十八席

貸出冊数：一〇冊まで

貸出期間：二週間



白山高校図書館は二棟三階に位置し、クラスの教室と近いため、授業の間の休憩時間にも生徒が気軽に来館します。読書や勉強、電車待ち、くつろぎの場所として利用されています。

学校図書館は、読書相談や生徒が本に親しむように取り組んでいます。六月に「梅雨の読書キャンペーン」、七月に「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の発行、秋の読書週間に「図書委員のおすすめ本」の展示など行います。また、調べ学習などで、授業でも利用されています。

本校図書館の蔵書は、生徒を通じて保護者の方もご利用いただけます。ホームページにて、新着図書案内を掲載しておりますので、また、ご活用ください。

生徒会より

生徒会

本年度は、生徒会の最初の活動として、四月に新入生を迎え恒例の対面式を実施することができました。

また、部活動紹介や見学期間を経てそれぞれの生徒たちは希望する部に入部し、放課後や週末には、練習に一生懸命取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症予防対策のために活動に制約を受けている部分がありますが、その中でも成果を上げて、県大会や東海大会に出場するクラブの選手たちを全校生で応援する壮行会を開催できるのは嬉しいことです。

さて、生徒たちにとって大きな学校行事と言えば、体育祭と文化祭です。今年は六月二日に体育祭を開催しました。幸いお天気にも恵まれ、怪我人や大きなトラブルもなく無事に終了。種目は少ないですが、クラスみんなで団結して取り組む綱引き、大縄跳び、クラス対抗リレーなど、大いに盛り上がったのが高校生活の楽しい思い出になったのではないかと思います。また、文化祭に関しては、現時点では、十一月に開催する予定です。新型コロナウイルス感染症状況に配慮した

上で、安全に実施できて生徒みんなが楽しめる企画内容を、今後、生徒会役員とともに考えていきたいと思っています。

また、生徒会活動の一環として、生徒会役員と生徒会顧問で毎日、通路のゴミ拾い、名松線の清掃、校門での挨拶運動を実施しています。毎朝、家城駅まで行って電車内の清掃を行うのですが、ほとんどの生徒が元気に挨拶をしてくれます。電車内やホームにゴミが落ちていることもほとんどありません。これからも地域社会に支えていただけるように、生徒一人一人の意識向上に取り組むたいと思っています。

今後とも、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



部活動の紹介

硬式野球部

私達白山高校野球部は、現在三年二十四名、二年十六名、一年十名、マネージャー二名の計五十三名で日々の練習に励んでいます。

新チームとして秋季三重県大会では、四位入賞という成績を収めることができました。準決勝では松阪商業に敗退。三位決定戦で津田学園に敗退し、最後まで粘りのある試合ができることをチームの課題として、個人のレベルアップ、チーム力向上を目指し、日々練習に励んできました。そして迎えた春季大会。新型コロナウイルスの影響もある中、無事開催され、中勢地区予選で津商業高校に勝利し、初の中勢地区優勝を果たすことが出来ました。大きくリードしながらも一点差まで追い上げられたことは課題となりましたが、一つ大きな自信に繋がりました。

今年度の三年生は、白山高校初の甲子園出場を果たすことが出来たときの中学三年生。「今度は自分たち



が甲子園で先輩達の果たせなかった一勝を！」を目標に頑張ってきました。三重県大会頂点を目指して日々練習に励んでいます。練習が出来ることの喜びや仲間と白球を追う時間の尊さをかみしめながら、応援してください。今自分たちに出来ることを精一

杯打ち込み、応援してくれる全ての方に感動を与えられる試合が出来るよう頑張っています。

保護者やOBの方々、そして地域の皆様には、日頃から白山高校野球部の活動にご理解ご協力を賜り、部員、顧問一同、深く感謝いたしております。部員達には、高校野球に携わる者として、野球を通して、人としても大きく成長してもらいたいと願っています。最後の大会、チームの力の一つにして一戦必勝で勝ち進み、二度目の甲子園出場を果たせるよう頑張ります。今後とも、応援よろしく願いいたします。

陸上競技部

本年度陸上競技部は、男子九名・女子一名の計十名で活動をスタートしました。

トラック種目は短距離・フィールド競技は投擲という種目に絞り、今年も全員自己新・東海大会出場を目標に日々の練習を重ねています。

さて、昨年度はコロナウイルス感染症拡大により多くの競技会が中止になりました。今年度は春先から競技会のひとつが開催されており、と

ても有り難いことだと感じております。

『陸上競技をするのは、目標を達成して自分が喜ぶと同時に、家族や仲間を喜ばせ、地域や学校に刺激を与えることが目的』という白山高校陸上競技部の活動方針のもと、今シーズンも頑張っていこうと思います。四月の国体一次選考会（少年男子砲丸投）では、二年生の奥川が十四位・同じく二年生の伊藤が十五位とともに自己新記録を更新することができました。また、五月の県総体（女子砲丸投）では一年生の晴山が自己新記録をマークして十一位という結果でした。目標にしていた決勝進出までもう少しという結果に悔しさを感じており、秋の県新人や東海新人に向けてモチベーションを高めるきっかけになったのではないかと感じています。

- 三重県陸上競技選手権大会（伊勢）
七月十日（土）～十一日（日）
- 東海陸上競技選手権大会（長野）
八月二十一日（土）～二十二日（日）
- 三重県高校新人大会（伊勢）
九月十八日（土）～十九日（日）
- U18陸上競技大会（愛媛・松山）
十月二十二日（金）～二十四日（日）

東海高校新人大会（静岡・小笠山）
十月三十日（土）～三十一日（日）

シーズン後半にはこれらの大会が開催されますが、結果より競技そのものを楽しむことを大事にしてほしいと思います。白山高校での陸上競技をやり切りましょう！

バスケットボール部

男子バスケットボール部は現在三年生七名、二年生三名、一年生二名の計十二名で日々の練習を励んでいます。今年度行われた県総体において県大会ベスト16という結果を収めることが出来ました。地区大会では上野高校と対戦し、終始どちらが勝ってもおかしくない攻防を繰り返して最後の最後まで結果がわからない展開でしたが、68対66で勝利を勝ち取り県大会の出場を決めました。生



徒の勝ちたいという気持ちが入り、部員全員が一つになった瞬間だったと思います。地区大会では中勢地区三位という成績を残せました。

県大会では一回戦四日市農芸高校と対戦し、75対62で勝利し、二回戦では第2シードの皇學館高校と対戦しました。前半はリードしていたもののシード校の壁は厚く、後半では思うような試合運びができなくなり、49対78で負けてしまい、とても悔しい結果でした。

昨年度からのコロナ感染拡大により、練習試合も満足にできないなかで、モチベーションが上手く保つことができない時期もありましたが、生徒たち同士でコミュニケーションを取り、練習メニューも生徒たちで考えておこなう部分もあり、試行錯誤しながら日々の練習に励んでおり、また、本校の他の部活動の結果に刺激され頑張ったのではないかと考えています。

また、保護者やOB、先生方の応援や支援の存在があったからだと肌で感じており、部員、顧問一同深く感謝しております。

今年度の目標は県大会ベスト8という新たな目標を掲げ日々の練習に励み、様々な方から応援されるようなチームを目指して行きたいと思

ますので、引き続き応援、ご支援の程よろしく御願い致します。

卓球部

卓球部は、今年度一名の新入部員を迎え入れ、計八名（三年生四名、二年生三名、一年生一名）で活動をスタートしました。五月の県総体団体戦を終えて三年生三名が引退し、現在は四名で日々活動しています。

毎日の練習をしっかりとすることはもちろん、「高校生として基本的な生活習慣をおろそかにせず、しっかりと授業を受け学力を身につけること」や「挨拶や言葉遣いなどをしっかりとする」といったことも、卓球部の活動目標としています。そうすることで、人間の幅が広がり、周りから応援されるようになると考えています。現在は、七月・八月にある高校選手権大会に向けて日々練習に取り組んでいます。今後とも応援、ご支援の程よろしく御願いいたします。



サッカー部

今年度のサッカー部は、三年生九名、二年生五名、一年生四名の計十八名で活動しています。三重県高校総体は残念ながら一回戦で敗退しましたが、六月から開催されたU18三重県サッカーリーグ三部、十月から開催予定の第百回高校サッカー選手権大会三重県予選に向けて日々練習に励んでいます。経験が浅いメンバーの多い中、対外試合で結果を出すことは容易ではありませんが、三部リーグ残留、選手権大会初戦突破に向けて、チーム一丸となって日々活動に取り組んでいきますので、引き続き応援をよろしく願います。

弓道部

弓道部は、三年生五名、二年生三名、一年生九名の計十七名で活動しています。各種弓道大会への出場と、段位の取得を目指して日々練習しています。三重県内の中学校のうち、弓道部のある学校は一枚だけです。そのため、部員はほぼ全員が初心者です。外部指導者の先生や上級



生からの指導のほか、部員どうしがお互いの射について助言し合うことなどを通じた技術の向上を目標としています。種目の特性として、弓を引く瞬間は自己と向き合うことになります。その一方で、団体戦においては他者と協力することも求められ、選手、応援の生徒を含めた部員全員で作り上げた雰囲気、試合の結果に大きく影響します。五月末に実施された三重県高校総体では、男子団体二位に入賞し、東海総体への出場権を得ることができました。日頃の練習の成果を本番で発揮できた経験は、今後の自信に繋がると思います。

テニス部

これからも正射必中を目標として全力で取り組むことで、主体的行動や他者貢献できる力を培っていききたいと考えています。

最後にになりましたが、弓道部の活動につきまして、日頃よりご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

テニス部は今春四名の新入部員を迎え入れ、計六名で活動をスタートしました。多くの部員は軟式テニスの経験者で、高校入学後に硬式テニスに切り替えました。最初は軟式と硬式の違いに戸惑いの大きい生徒たちでしたが、二ヶ月近くが経ちだんだんと慣れてきたようです。月曜日から金曜日まで、暑い日も寒い日も黄色いボールを追いかけて汗を流しています。普段の練習は試合中心でやっているのですが、まずは大会に出場することを目的に練習に力を入れていきたいと思えます。みなさまの応援をよろしくお願いいたします。

吹奏楽部

吹奏楽部は、現在三年生一名、二年生三名、一年生四名の計八名で、今年度は月曜日から金曜日まで活動しています。

部員数の減少から部の存続を心配していましたが、「クラブ紹介」行事でのデモ演奏の効果か（？）、四人のフレッシュな新入部員を迎えることができました。他校のバンドに比べれば全くの少人数ですが、やはりより多くの仲間と音楽を奏でるのは楽しいものです。現在、未経験者も区別なく、毎夕楽しみながら仲良く練習を重ねています。

ただ、残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は避けられず、五月に予定されていた中勢地区高等学校吹奏楽演奏会（フレンドシップコンサート）は昨年引き続き中止となり、夏の高校野球応援も実施は難しい状態です。三年生にとっては昨年に引き続き、貴重な演奏機会が奪われ、我慢の日々が続いています。

まだまだ新型コロナウイルスの影響で先が見えない状況ですが、体育祭（クラブリレー）、文化祭という数少ない出番を出来る限り楽しむべく、

これからも地道に活動を続けていきたいと思えます。

今後、コロナ禍が終息し、イベント等の機会があれば積極的に参加できるように、準備を整えておくつもりです。また地元白山町に本拠を置くビッグバンド「Jazzband HAKUSAN」様との交流も図りながら、地域に貢献できる活動を模索していきたく考えています。



美術部

美術部は、現在三年生が二名、二年生が二名、一年生が七名の計十一名で月曜日・木曜日の週二回活動しています。

四月からは、空き瓶を利用し、ガラス絵の具とペイントライナーを使って、オリジナルの作品作りに取り組んでいます。

穏やかな空気の中で、生徒それぞれが作品に取り組んでいます。無心になって取り組む時間は、多感な年頃の生徒達にとって心のバランスを取る意味でも有意義であることを生徒を通して実感しています。絵を描くのが苦手だと思っている人でもかまいませんので、関心がある人は是非一度遊びに来てください。

そして、今年度の新たな取り組みとして「絵ことば」にも挑戦しています。好きな絵を画用紙に書き、その余白に、心に響いた言葉を筆ペンで書いて、完成した作品を生徒玄関付近に飾る予定です。

「白山高校笑顔いっぱいプロジェクト」と題して、生徒の皆さんに授業の移動時や帰り際など、それぞれの時間の中で、ふと目にとめて言葉の持つエネルギーを感じてもらえるよう

なそんな作品を目指して取り組んでいます。

また今年度は、毎週火曜日の放課後に松山生にお越しいただき、油絵を指導していただいております。

こちらの方は自由参加となっており、美術部以外の生徒も参加することが出来ます。本格的に美術を学びたい人、自分のペースで好きな作品を作りたい人とそれぞれの思いに応えられる環境が今年度は整った状況にあるので、大きなチャンスと捉え、さらに活動の幅を広げて意欲的に取り組んでいきたいと思っております。

書道部

書道部員は、現在三年生の一名です。少々寂しいのですが、放課後にはとても熱心に、そして積極的に練習に励んでいます。

今年度も、新型コロナウイルスの影響で、三重県高等学校文化連盟書道部門の六月の行事が中止となりました。他校との交流を楽しみしておりましたので、部員・顧問共々大変残念です。今後の大きな行事は、「みえ高文祭」「生徒・教員展」での出品・展示があります。

校内の文化祭でも「書作展」をする予定です。多くの方に見ていただければ、幸いです。

朗報：運動部の三年生が、引退したら書道部で活動できるか聞いて来ました。部員の三年生と同様、「今でもしか書けない作品」の制作に、チャレンジしてもらおうと期待しております。

家庭部

家庭部は、現在三年六名、二年四名、一年四名の計十四名の部員が活動しています。

コロナ禍での活動ということで、一学期、調理室を使つての活動をしばらくの間休止し、被服室で布を使つての小物作りや、一年生は運針をして、フキン作りを行なっています。

昨年の文化祭では、それぞれが調理したレシピをポスターにして展示を行いました。展示では、自分の作った料理を写真に撮り、それぞれがレシピを分かりやすく伝えられるよう、工夫をこなしました。今年の文化祭は、何をするか、これからの活動を通して、考えていきたいと思っております。

今年も、物作りの楽しさを共有し、部員みんなで協力し合い、活発な活動をしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



商業部

商業部は、平日の放課後に週三回の活動を実施しています。活動内容は、ビジネス文書実務検定や情報処理検定などの一級合格を目指して自主的に勉強しています。また、ワープロ競技会にも積極的に参加しており、今年度は実施が再開した同競技会に三年生を中心に団体で出場しました。

また、六月から二年生二名が、「ナビバミエ若き起業家育成事業」に参加をしています。オンラインでのキックオフを行い、社会課題に対して高校生ならではの柔軟な発想で



6月ワープロ競技会会場にて

ビジネスプランを考える種を、起業家や、日本政策金融公庫の講師の方から話をしていたいただき、二月の三重県で開催されるビジネスプランコンテストの優勝を目指します。日々の学習内容を、アイデアと結びつけ課題解決を行い、ビジネスとして成立するように考え、市場調査やアンケートを行いブラッシュアップして発表に挑みます。

まだまだ社会情勢の混乱が収まらない中でも、少しずつイベントが再開し、学びの場を取り戻しつつあるなかで、混乱の中でも、できることを模索して成長をしていく生徒の姿を頼もしく思います。

茶道部

本校茶道部は、校内の活動だけでなく君ヶ野ダム公園桜祭り、家城地区文化祭、一志病院健康のつどいなど、地域のイベントにも参加させていただいております。しかし、昨年度からは新型コロナウイルス感染症対策の観点からイベントが中止になり、校内での活動のみを実施しております。日々のお稽古においても、飲食を自粛するため、お抹茶も楽し

んで飲むこともできません。新入生も三名加わり、一日も早く、通常のお稽古ができる日を心待ちにしています。茶道を通して地域の方々とふれあい、貴重な経験を積み、地域に貢献できるクラブ活動が再開できる時に備えて、学校でのお稽古をがんばっていきたいと思います。

人権サークル

今年度の人権サークルは、現在三年生三名で活動しています。

中勢地区の高校生や特別支援学校高等部の生徒たちが集まる「中勢地区高校生人権活動交流会」(月二回程度)に積極的に参加し、志を同じくする他校の生徒と学びを深め、活発な意見交換を行っています。また、白山地区出身の高校生が集まる「はくさん高校生友の会」(月一回程度)にも参加し、すでに高校を卒業した先輩たちから学ぶとともに、他校に進学した高校生と意見交流を行っています。また、校内でのサークル活動も充実させていこうと意気込んでいます。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、中勢地区高校生友の会では、四、五月に

はオンライン交流が行なわれ、本校からも出席し、ZOOMを利用しての意見交流を行いました。参加した生徒は、緊張してはいましたが、貴重な他校の生徒との交流を楽しんでいました。

三重県教育委員会主催の「地区別人権学習活動交流会」や白山市民会館企画運営によるイベント等もコロナ禍の中実施が不透明ですが、参加を念頭に可能な限り校外の活動にも活動の幅を広げていきたいと考えていますので、みなさまの御支援と御鞭撻を宜しくお願いいたします。

